

日本国際テコンドー協会 昇段審査課題								
		1段受審	2段受審	3段受審	4段受審	5段受審	6段受審	7段受審
トウル（型）		ファラン（花郎） チュンム（忠武）	クワンゲ（広開） ポウン（圃穩） ケベク（階伯）	ウィアム（義菴） チュンジャン（忠壯） チュチェ（主体）	サミル（三一） ユシン（庚信） チェヨン（崔瑩）	ヨンゲ（淵蓋） ウルチ（乙支） ムンム（文武）	ソサン（西山） セジョン（世宗）	トンイル（統一）
ヤッソマッソギ（約束組手）		1歩チャユ（1～5） 約束チャユ（1～5） 護身術（1～7）	※2段受審以降、ヤッソマッソギはなし					
マッソギ（組手）		小学・中学・高校				※5段受審以降、チャユマッソギなし		
		1：1／2分2R 2：1／1分1R	1：1／2分2R 3：1／1分1R	※小学・中学・高校は2段まで受審可				
		成年男女（18歳～39歳）						
		1：1／2分2R 2：1／1分1R	1：1／2分2R 3：1／1分1R					
		ベテラン（40～49歳）※50歳以上は基本的にマッソギなし						
		[ベテラン男子] 1：1／1分30 1R 2：1／1分1R  [ベテラン女子] 1：1／1分30 1R	[ベテラン男子] 1：1／1分30 1R 3：1／1分1R  [ベテラン女子] 1：1／1分30 R					
ウイリヨ（威力）／トウツキ（特技）	小学生	※小学生は1段まで受審可 ※小学1～3年生と4～6年生で試割り（手技）の枚数、内容が一部違います。  男子ウイリヨ（威力）：ソンカル 小学1～3年（1枚）、小学4～6年（2枚） 女子ウイリヨ（威力）：アプバルク 小学1～3年（1枚）、小学4～6年（2枚）  男子トウツキ（特技）小学1～3年：ティミョ・ノピチャギ、小学4～6年：ティミョ・パンデ・トルリョチャギ 女子トウツキ（特技）小学1～3年：ティミョ・ノピチャギ、小学4～6年：ティミョ・トルリョチャギ						
	中学生	[男子]----- アプチュモク（2枚） ヨブチャチルギ（3枚） ティミョ・パンデ・トルリョチャギ（1枚） [女子]----- アプバルクッ（2枚） ヨブチャチルギ（2枚） ティミョ・トルリョチャギ（1枚）	[男子]----- ソンカル（3枚） トルミョ・ヨブチャチルギ（3枚） ティミョ・トルリョチャギ（1枚） [女子]----- アプバルクッ（2枚） トルミョ・ヨブチャチルギ（2枚） ティミョ・トルリョチャギ（1枚）	※中学・高校生は2段受審まで可				
	高校生	[男子]----- アプチュモク（2枚） ヨブチャチルギ（3枚） ティミョ・パンデ・トルリョチャギ（1枚） [女子]----- アプバルクッ（2枚） ヨブチャチルギ（3枚） ティミョ・トルリョチャギ（1枚）	[男子]----- ソンカル（2枚） トルミョヨブチャ・チルギ（3枚） ティミョ・トルリョチャギ（1枚） [女子]----- アプバルクッ（2枚） トルミョ・ヨブチャチルギ（2枚） ティミョ・トルリョチャギ（1枚）					
	成年男子 18～39歳	アプチュモク（3枚） ヨブチャチルギ（4枚）  ティミョ・パンデ・トルリョチャギ（1枚）	アプチュモク（3枚） トルミョ・ヨブチャチルギ（3枚）  ティミョ・トルリョチャギ（1枚）	ソンカル（4枚） パンデ・トルリョチャギ（3枚）  ティミョ・ノピチャギ（1枚）	トウンジュモク（3枚） トルリョチャギ 左右（3x3枚）  ティミョ 360° トルミョ・ヨブチャチルギ（1枚）	※成年男女・ベテラン男女ともに5段受審以上は試割りなし		
	成年女子 18～39歳	アプチュモク（3枚） ヨブチャチルギ（4枚）  ティミョ・パンデ・トルリョチャギ（1枚）	アプバルクッ（3枚） トルミョ・ヨブチャチルギ（3枚）  ティミョ・トルリョチャギ（1枚）	アプバルクッ（3枚） パンデ・トルリョチャギ（2枚）  ティミョ・ノピチャギ（1枚）	アプバルクッ（3枚） トルリョチャギ 左右（2x2枚）  ティミョ・ノピチャギ（1枚）			
	ベテラン 40～49歳 ※50歳以上は試割りなし	[男子]----- アプチュモク（3枚） [女子]----- アプバルクッ（2枚）	[男子]----- ソンカル（3枚） [女子]----- アプバルクッ（2枚）	[男子]----- アプチュモク（3枚） [女子]----- アプバルクッ（2枚）	[男子]----- ソンカル（3枚） [女子]----- アプバルクッ（2枚）			
備 考								

## **昇段審査確認事項**

### **◇本審査に臨む前に必ず仮昇段審査を実施する**

仮昇段審査では原則としてツール、約束組手、マッソギ、試割り等、課題内容をすべて行う。

### **◇1段受審 護身術について**

左手で相手の右手側、または部位を掴む。  
相手が受審者ではない場合は、受審者のみ行う。  
手首→肘→肩→襟→帯→首→頭の順序で行う。

### **◇拳立て 回数について**

小学生：30回  
中学男子：30回  
中学女子・高校女子・成年女子・ベテラン女子：30回  
高校生・成年男子：50回  
ベテラン男子：30回

### **◇使用する板について**

（威力）

小学・中学生（小1～中3 男女） 6分板  
高校生・成年部 男子8分板・女子6分板  
ベテラン（40～49才） 男女 6分板 ※50才以上は威力の審査はなし

（特技）

特技は全て6分板を1枚で行う。  
ベテランクラスは特技をしない。

### **◇ティミョチャギ（特技）の高さについて**

原則として頭頂部に板の中心を合わせる。  
※3段受審課題、ティミョノピチャギは手を上に上げた高さに合わせる。

### **◇ベテラン（50才以上）について**

ベテラン（50才以上）は試割りはなし、マッソギは基本的にしない。

### **◇審査保留について**

課題内容を正確に完了できない、試割（3種類）の内、2種類が割れない場合は昇段保留となる。  
保留の場合は後日再審査する。

（試割りの可否について）

- ・成功：種目ごとの規定の枚数がすべて割れた場合
- ・失敗：一部の枚数が割れる、ヒビが入った場合など。